

本日の意見交換のポイント(R5)

資料4

SDGsの達成年度である2030年の折り返し年を迎え、それぞれの立場から「①現在の取組状況や今後の予定している取組等」について紹介いただくとともに、市民、企業、行政等のあらゆる関係者が「②SDGsの取組を促進、拡大、加速化していくために、必要なこと」などについての考えを述べてもらい、意見交換を行う。

①現在の取組状況や今後の取組予定

- 新たな取組や独自性のある取組、日頃から意識していることのほか、今後、予定している取組など

②SDGsの促進、拡大、加速化に向けて必要な取組等

- SDGsの認知度について、直近の民間調査では約9割近くまで高まっているとの結果も出ている。他方、認知はしているものの、具体的な行動に結びついていない層が多く存在するとの調査結果もあり、SDGsを「自分事化」し、さらに実践に繋げていくためには、どのような取組が必要か？
- SDGsの推進や裾野を拡大し、様々な関係者との連携が必要となるが、今後、どのような分野とどのように連携して、地域課題の解決に向けて取り組んでいくべきか？
- SDGsの17のゴールのうち、重点的に取り組むべきと考えるゴールと、その目標達成のためには、どのようなアプローチで取り組んでいくことが有効か？
- SDGsの重要な視点である環境・経済・社会の統合的取組による相乗効果や、様々な地域資源を活用し、地域内で自律的好循環を生み出していくためには、どのような点に留意し、取り組んでいくべきか？
- G7富山・金沢教育大臣会合の開催に伴い、児童・生徒が作成した「こどもサミット宣言書」がSDGsと親和性の高い内容となっているように、SDGsの達成には、次世代の子どもたちを「持続可能な社会の創り手」として育成することが不可欠であるため、今後、どのような点に留意してSDGs教育に取り組んでいくべきか？¹